

令和4年度第2回安城市総合計画審議会 議事（要旨）

日 時	令和4年11月18日（金） 午後2時00分～午後3時20分	
場 所	市役所大会議室	
出席者	委 員	加藤研一会長、太田千尋副会長 佐野真紀委員、鈴木健司委員、久恒美香委員、渥美純一委員、 安藤正康委員、石川誠委員、加藤宣子委員、柴田知幸委員、 戸田こず恵委員、富田清治委員、渡邊裕子委員、近藤裕己委員、 山本道生委員
	事務局	市長、副市長、教育長、企画部長、総務部長 関係部次長、健幸=SDGs課長、健幸=SDGs課長補佐、 健幸=SDGs課職員
次 第	1 市民憲章唱和 2 市長あいさつ 3 議題 (1) 第8次安城市総合計画 実施計画（令和5～7年度）（案）につ いて 4 その他	

1 市民憲章唱和

2 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。本日はご多用の中、令和4年度第2回総合計画審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の審議会では、令和5年度から令和7年度までの3か年の実施計画についてご審議いただきます。実施計画は、本市8か年の長期計画である「総合計画」に掲げております目指す都市像、「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けた総合的なまちづくり推進のために、今後3年間で取り組む具体的な事業を記載して毎年策定するものです。

実施計画の策定に当っては、長期的視点に基づいた歳出額の平準化、本市の未来を見据えて今必要となる施策の着実な実施を念頭に置きつつ、現在の本市を取り巻く社会状況にも注視しながら進めてまいりました。

今回の実施計画には、コロナ禍からの脱却に向けた投資や子どもたちの教育環境の充実、災害対策の強化といった視点を持って、本市の明るい未来への種蒔きとなるような事業を掲載しております。

また、計画期間のうち令和5年度は、現在の第8次安城市総合計画の最終年度となります。これまで実施してきた取り組みを総括しながら、「ケンサチはSDGs」を掲げ、長期展望に立って、持続可能な社会の実現に向け、施策が途切れることのないように、着実な事業推

進を図ってまいりたいと考えております。

なお、現在は次期総合計画となる第9次安城市総合計画の策定を進めております。これは実施計画でお示しする次年度以降の3か年よりも、さらにその先の本市の未来の方向性を示すものとなります。現在実施しているアンケート調査や、市民参加によるワークショップ等を通じて、多くの皆さんのご意見を拝聴しながら、本市が目指す新たなまちのあり方を検討し、次回以降の総合計画審議会でお示ししてまいりたいと考えております。

以上簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日のご出席、誠にありがとうございました。

### 3 議題

(1) 第8次安城市総合計画 実施計画（令和5～7年度）（案）について

#### 【加藤研一会長】

それではさっそく議事に移りたいと思います。

本日は、議題が1つでございます。議題（1）第8次安城市総合計画 実施計画（令和5～7年度）（案）について、事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

#### 【加藤研一会長】

ただいま事務局から議題（1）第8次安城市総合計画 実施計画（令和5～7年度）（案）について説明がありました。

皆さまの広い視野、高い政策的見地からご意見をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

#### 【近藤裕己委員】

財政計画について質問させていただきます。歳入と歳出の合計が合っていないように思いますが、合わない場合は財政調整基金を活用するということでしょうか。余った場合はどうなるのでしょうか。

#### 【健幸=SDGs課長】

歳入につきましては、繰越金というものがございます。前年度の繰越金が、決算剰余金という形で入ってまいります。令和4年度はこちらも合わせた歳入の合計額が770億円余りございます。歳出については、この歳入をすべて使い切らないように予算を編成しております。余った分については、繰越金としてその半分を財政調整基金として積み立てております。

#### 【加藤宣子委員】

防犯カメラの整備事業についてですが、たくさんカメラを設置することは防犯的によいと思いますが、最近は犯罪が多く防犯カメラの映像がすぐにテレビやYouTubeに

出たりします。どういう所でモニターを管理しているか、もし何かあったときにどこに連絡すればよいかを教えてください。

**【市民生活部長】**

防犯カメラを昨年度から設置しております。今設置している100台については、事件が発生した場合、警察から依頼があればデータをお渡ししております。どこかでモニタリングしているというような運用はしておりません。

**【安藤正康委員】**

関連して防犯カメラについて質問です。プライバシーの観点から防犯カメラの運用基準を作った方がよいと思っており、例え警察であっても個人を特定して情報提供するということがプライバシーの侵害になるという考え方もありますので、防犯カメラを多数設置する場合は住民との間で合意をとることが必要ではないでしょうか。

**【市民生活部長】**

来年度から100台ずつ設置して5か年にわたって500台を設置いたしますので、ご指摘いただいた点についてもしっかり研究してまいります。

**【安藤正康委員】**

地域福祉の分野について、実施計画書には書かれていないのですが、障害者やマイノリティーの方と地域の方が共生していく、そういったまちづくりをしていくことが大事だと思っています。特に精神障害や発達障害の方に対する理解がまち、地域の中で進んでいくことが必要であり、防災面でも避難が必要なお互いにいざこざが起こることを防げ

ると思います。

障害者やマイノリティーの方が地域の中で共生していくための日ごろからの取組を次の総合計画では考えていただきたいと思います。

**【福祉部長】**

実施計画書には記載がありませんが、障害については、障害福祉計画という個別計画にしっかりと記載し、実施してまいります。

**【柴田知幸委員】**

自転車活用推進事業について、対象となる範囲が北部中心になっていると思いますが今後南部にも拡張していく計画はあるのでしょうか。

**【都市整備部長】**

自転車活用推進事業については、来年度シェアサイクルを JR 安城駅やデンパークなどから導入いたしますが、まず手始めにそこから始めて状況に応じて今後の計画を考えていきたいと考えております。また、現在行っているレンタサイクルをすべてやめるのではなく、北部公民館と桜井公民館については残して運用していく予定をしております。

**【柴田知幸委員】**

北部の方は道が広めのところがあって、自転車用のブルーラインがありますが、南部の

方は道が狭いので、そちらも進めていただければと思います。

**【安藤正康委員】**

市債残高と基金残高の推移についてですが、来年度以降、市債残高も基金残高も減っていくという予想をされていますが、これはどういうふうに解釈すればよいのでしょうか。

**【健幸=SDGs課長】**

歳出について扶助費が増加傾向となっております。施設やインフラに対する投資的経費についても、年度によってばらつきはありますが、予算規模が大きくなっております。その一方で、税収は堅調であるものの、増加とまでは見込んでおりませんので、その結果として基金残高が減少しております。今後も緊急の対応を要した際には必要な基金残高を確保するように考えております。

**【富田清治委員】**

がんばる中小企業応援事業について、詳しく教えてください。継続事業として挙げられている ISO の認証支援についても、年々こういった制度は進化していきますので、そのあたりも整理していただきたいと思います。

**【産業環境部長】**

まず、2つございます来年度新規事業について、カーボンニュートラル推進補助は日本全体が2050年に向けて温室効果ガス実質ゼロを目指す中で、産業部門、民生部門もできることからこれを目指していくというところで、まずエネルギー消費を減らすことが必要ですので、そのための設備の導入に関して補助金を設けるところでございます。ただ、やみくもに省エネ設備の設置補助をするわけではなく、公的団体による省エネ診断を受けて、その診断結果に基づいた投資を行った中小企業の皆様に対して支援するものでございます。

また、ものづくりデジタル化推進補助については、産業部門においてもデジタルトランスフォーメーションの推進が大きな課題になっておりますので、専門家にきちんと相談し、そのアドバイスに沿って様々な機器を導入する企業に対して支援をさせていただく事業となっております。

既存の事業については、毎年の支援の実績や内容を見ながら、強化・拡充するメニューを設ける、あるいは縮小するという見直しを行っております。また、富田委員からご指摘のあった ISO 認証についても、支援のあり方を今後考えてまいります。

**【久恒美香委員】**

自転車活用推進事業について、シェアサイクルとして導入する自転車が電動アシスト付き自転車というのは、長い距離を走りたい方や年配の方にとってよいと思いますが、スピードが出やすかったり、曲がりにくいということはないのでしょうか。初めて乗る方も簡単に乗ることができるのか教えてください。

**【都市整備部長】**

自転車の種類については、東京や岡崎のシェアサイクルでも使われている自転車を

使っていくことになろうかと思っておりますので、安全性については問題ないと思っております。周辺整備もしながら、しっかりと運用してまいります。

**【安藤正康委員】**

DX 推進事業について、社会福祉センターで障害者の人たちがパソコン教室をしようとしたら公共施設なのにネット環境がありませんでした。福祉センターのネット環境についても考えていただきたいと思っております。

もう一つ、住宅耐震診断補助事業について、補助対象が昭和 56 年以前の建物になっていて、今の建築基準に合わないからということはあると思っておりますが、南海トラフ地震の想定だとさらに耐震性を高める必要がありますし、昭和 56 年以降にできた住宅も今では 40 年くらい経過していますので、そういった住宅の耐震診断の補助も考えた方がよいのではないのでしょうか。

**【福祉部長】**

福祉センターのネット環境については、今すぐは難しいかと思っておりますが、今後 ICT の普及に伴ってニーズを確認しながら検討してまいります。

**【建設部長】**

耐震診断の補助についてですが、昭和 56 年以降の建物については老朽化が進んでいると思われるものの、新しい耐震基準を満たしているというところがございますので、現在のところは今のとおりに実施したいと考えております。

**【加藤研一会長】**

事前質問の中の調整池に関して、市街地以外の通行止めになるような道路冠水は場所が限られていると思っておりますので、こちらの対応もお願いしたいと思っております。

**【建設部長】**

会長にご指摘いただいたような場所について、部分的な改良で対策可能なところについては積極的に取り組んでいきたいと考えております。ただ、根本的に河川に水が流れないといった大規模な改修については対応が難しいことをご理解いただきますようお願いいたします。

**【加藤研一会長】**

それでは、最後に学識経験者の方から総括をいただきたいと思っております。

**【佐野真紀委員】**

私からは専門的な話の前に、この審議会全体に関してお話をさせていただきます。

まず、このような審議会是他自治体だと、だいたい市長は次の公務で退席されることが多いのですが、安城市は市長、副市長、教育長、各部の部長たちがずっといらっしゃいます。各部の部長がお答えになるので、すぐにはっきりした答えがここで聞けて、積極的にこの審議会を捉えていただけていることが分かりましたし、一つの特徴だと感じました。

また、他自治体だどご縁のある学識経験者が審議会の会長をすることが多く、私も

会長をお願いされることがあります。安城市では、まちのことをよく知っている市民の方が会長、副会長を務めていらっしゃるのも特徴だと思いました。

また、今日はたくさんの意見が出ましたが、こんなに活発に意見がでることも特徴だと思います。市民の皆さんがこういう場を通して、自分のまちを良くしていこうと考えておられるんだと感じました。

実施計画について私の専門分野で申し上げますと、つながり促進事業について、昨今、子どもの貧困や、ヤングケアラーといった不登校以外の子どもに関する課題がクローズアップされている中で、社会福祉士の資格を持つ方の必要性が高まっています。安城市のつながり促進事業は、つながりディレクターという教育関係の方と福祉の資格を持つ方が連携する点がとても強みになると思います。

岡崎市では退職した校長先生とスクールソーシャルワーカーが一緒になって学校を訪問しています。これによって、学校に不慣れなスクールソーシャルワーカーがスムーズに学校に入り、学校関係者とは違った視点から活動することができることがよいと聞いています。安城市でも来年度からスクールソーシャルワーカーを配置されるということですし、常時配置というのも積極的な取組だと思います。

#### 【鈴木健司委員】

私は専門が地方財政・財政学ですのでそちらの観点からコメントさせていただきます。まず、安城市の総合計画は非常によいなと感じておりまして、基本方針である健康プロジェクトがあつて、その後に各分野にわたってマトリックスのように事業が組んである点がよいと思います。他自治体の総合計画だと縦割りにしてしまうことがあるのですが、横の意識があつて計画を見たときに市民の皆さんが市のやろうとしていることが想像しやすいのではないかと思います。次の総合計画でも引き続きこのようにしてほしいなと感じました。

総合計画は市としてこういうことをするんだという思いを計画に載せて、その計画、あるいは事業を実施する際は市民のニーズを捉えて行うと思います。その結果、行政側からすれば、ニーズがあつたのでこの事業をしますとなるのですが、市民側からすると、確かにそうしてほしいと言ったけど、それによって自分たちの生活がどのように便利になるのか、豊かになるのかわからないという問題が潜在的にあると思います。

例えば、DX推進事業は進めていくべきだと思いますが、市役所業務のDX化が進むことで市民にとってどのように便利になるのかわかるとさらによいのかなと思います。実施計画には有効性・効率性・緊急性が加味されているということですが、有効性はなかなか把握できないところがあります。市民がこうなるんだということがわかるようになれば有効性につながると思います。

市長のあいさつでも現在策定中である次の総合計画について触れておられましたが、この審議会という場も通じて、こういうことが便利になるんだよということを伝えていけると市民のための計画になるのだと思います。

**【加藤研一会長】**

ありがとうございました。本日欠席の安田委員からも総括意見をいただいておりますので、事務局から紹介をお願いします。

**【健幸=SDGs 課長】**

それでは安田委員からの実施計画に関する総括意見を紹介させていただきます。

- ・全体的に、よくまとめられており、かつ見やすい工夫がされていてよいと思います。
- ・計画とSDGs との関係を示したイメージ図も全体を俯瞰できてよいと思います。
- ・「つながり促進事業」および「スクールアシスタント事業」では、関係者の生の声をフィードバックするような仕掛けがあると良いと思います。
- ・「がんばる中小企業応援事業」では、新しい事業に挑戦している企業の応援と、これから事業を始めようとするスタートアップ支援をしっかり行っていただきたい。
- ・「防犯カメラ整備事業」では、個人情報保護をしっかりした上で、収集したデータの利活用の検討に期待しております。
- ・「自転車活用推進事業」では、シェアサイクルの利用状況を市民にフィードバックするとともに、利用者からのアンケートを定期的に行ってはどうでしょうか。
- ・「DX 推進事業」では、誰一人取り残さないデジタル社会のため、デジタルデバイド解消の施策を継続的に実施していただきたい。
- ・業務のDX化も引き続き行っていただきたい。

以上でございます。

**【加藤研一会長】**

それでは、これで質疑を終了させていただきます。

皆さんからさまざまなご意見も出てまいりましたので、事務局にはこの意見について、しっかりと検討していただきたいと思いますが、令和5年度から7年度までの実施計画については、原案どおり了承することにご異議ございませんか。

(異議なし)

**【加藤研一会長】**

それでは、議題（1）第8次安城市総合計画 実施計画（令和5～7年度）（案）について、を終了します。

本日の議題は以上でございます。事務局にお返しします。

4 その他

**【健幸=SDGs 課長】**

委員の皆様には貴重なご意見をいただきありがとうございました。それでは事務局から連絡をさせていただきます。

前方のスクリーンをご覧ください。スクリーンには、次の第9次安城市総合計画の策定スケジュールをお示ししております。次回の総合計画審議会は、来年5月を予定しております。現在は市民アンケート等の各種調査や市民で構成する安城市市民未来会議を実施しているほか、計画策定に向けた庁内会議での検討も始めたところでございます。

来年度の総合計画審議会では、これらの行程を経て策定する計画素案についてご審議いただきたいと考えております。そのため、審議会の開催回数を増やしまして、6回程度開催する予定をしております。開催日程が決まりましたら、改めてご案内させていただきますので、委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご出席いただきますようよろしくお願い申し上げます。以上です。